

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第1週の発生動向

□ 全数報告の感染症（1週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病2例。5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	つつが虫病	日南	90歳代	男	—	発熱、刺し口
		小林	50歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	都城	50歳代	男	—	ショック、腎不全、軟部組織炎
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	眼症状
		宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,366人(定点当たり47.8)で、前週比68%と減少した(年始含む)。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は432人(7.5)で、前週比148%と増加した。延岡(9.9)、日南(8.2)、日向(8.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

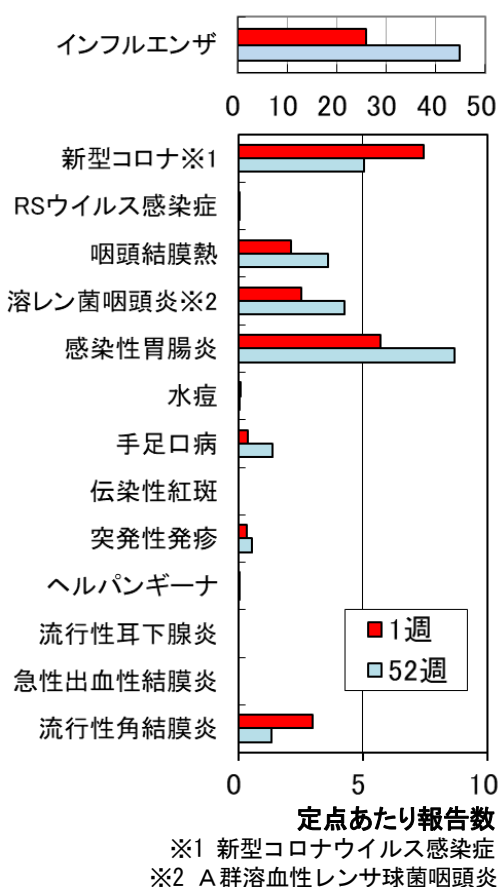
報告数は1,511人(26.1)で、前週比58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.9)の約2.4倍であった。延岡(35.9)、宮崎市(34.8)、高千穂(29.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約半数を占めた。

【咽頭結膜熱】

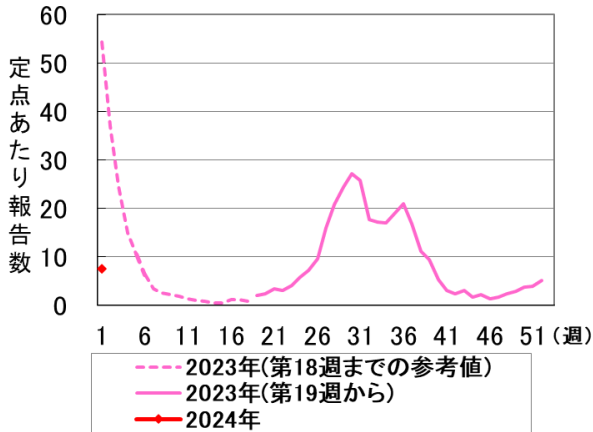
報告数は76人(2.1)で、前週比58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.53)の約4.0倍であった。中央(4.0)、延岡(3.8)、都城(2.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

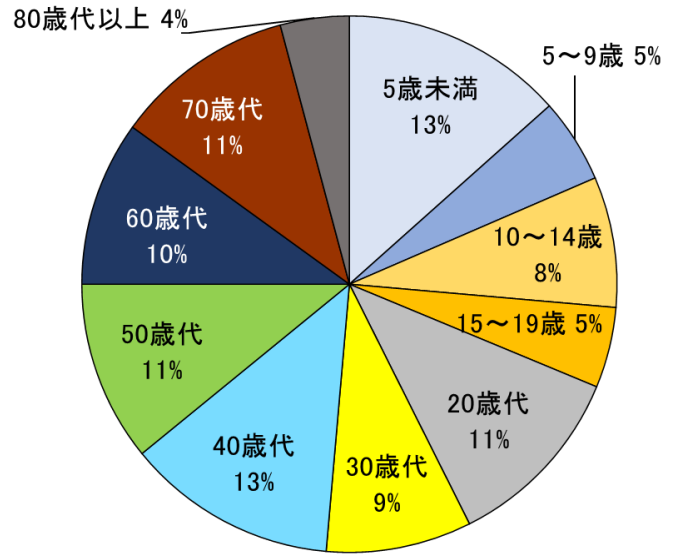
《前週との比較》



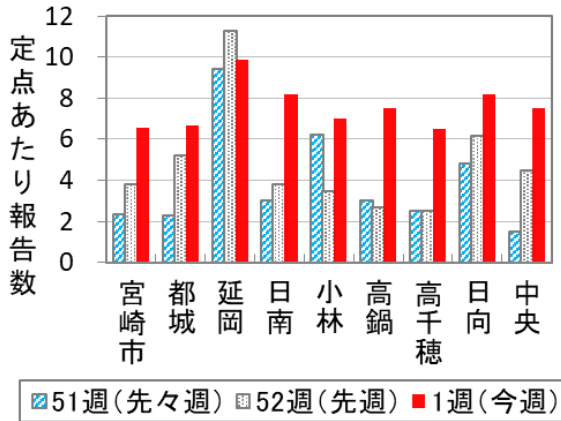
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第1週)

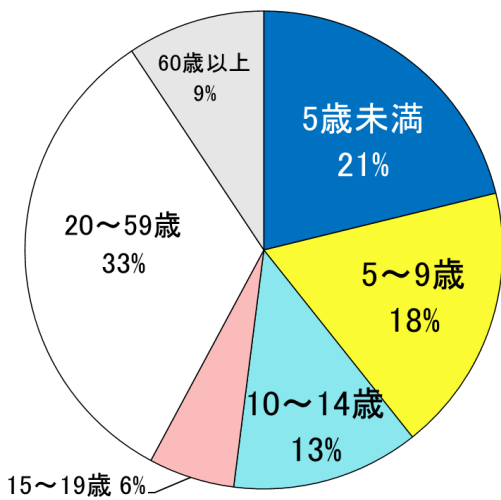


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

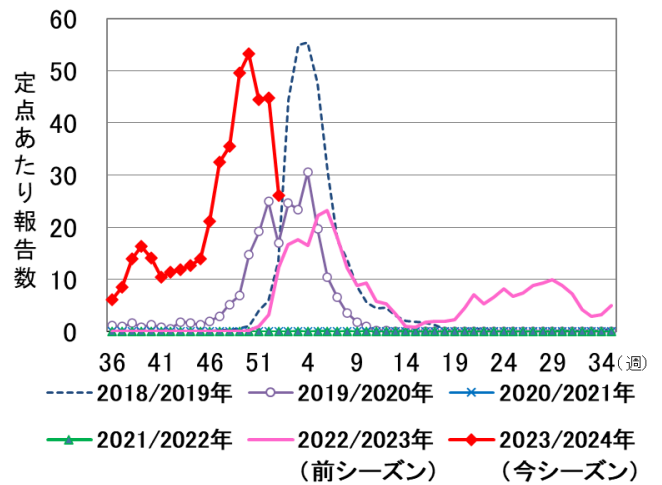


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

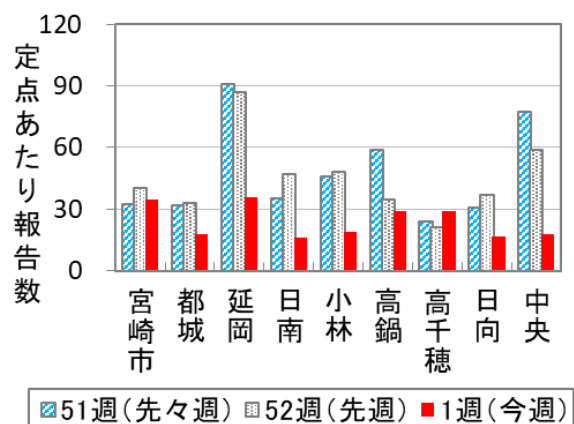
インフルエンザ年齢群別グラフ(第1週)



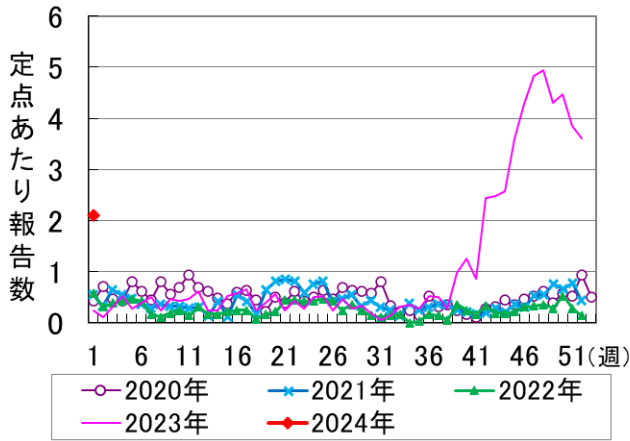
インフルエンザ 発生状況



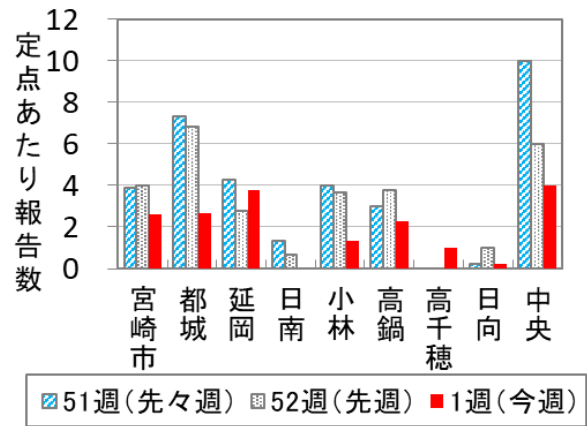
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(34.8)
都城	インフルエンザ(17.7)
延岡	インフルエンザ(35.9)、咽頭結膜熱(3.8)
日南	インフルエンザ(16.0)
小林	インフルエンザ(19.3)
高鍋	インフルエンザ(28.8)
高千穂	インフルエンザ(29.0)
日向	インフルエンザ(17.0)
中央	インフルエンザ(18.0)、咽頭結膜熱(4.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和6年1月8日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	5~9歳	男	2023.12.02	胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2023.12.13

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus	10歳代	男	2023.11.06	急性気管支炎、38.6℃、咽頭痛	鼻汁	2023.12.25
Influenza virus A H1pdm09	60歳代	女	2023.11.20	インフルエンザウイルスA型、39.2℃、咳、鼻水、悪寒、関節痛、下痢	鼻咽頭ぬぐい液	2023.12.28
Influenza virus A H3	10歳代	女	2023.11.21	インフルエンザウイルスA型、38.3℃	咽頭ぬぐい液	2023.12.28
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2023.11.27	インフルエンザウイルスA型、38.5℃、嘔気・嘔吐、気管支炎	鼻汁	2023.12.28

✚ 全国 2023 年第 52 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	225 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	23 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	15 例	A型肝炎	1 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	20 例	デング熱	3 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性脳炎	8 例	クリプトスポリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	57 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	138 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	9 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 93%と減少した(年末含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 104,612 人(21.7)で前週比 94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.8)の約 3.2 倍であった。宮崎県(44.9)、高知県(36.3)、大分県(35.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 27,987 人(5.8)で前週比 127%と増加した。北海道(12.3)、長野県(10.7)、愛知県(9.2)、岐阜県(9.2)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第01週(01月01日～01月07日)

疾病名		第52週	第01週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2602	1511	557	177	251	80	77	173	58	102	36
	定点当り	44.86	26.05	34.81	17.70	35.86	16.00	19.25	28.83	29.00	17.00	18.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	292	432	105	67	69	41	28	45	13	49	15
	定点当り	5.03	7.45	6.56	6.70	9.86	8.20	7.00	7.50	6.50	8.17	7.50
RSウイルス感染症	報告数	1	2	1		1						
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	130	76	26	16	15		4	9	1	1	4
	定点当り	3.61	2.11	2.60	2.67	3.75	0.00	1.33	2.25	1.00	0.25	4.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	154	91	44	14	15	5	4	5		4	
	定点当り	4.28	2.53	4.40	2.33	3.75	1.67	1.33	1.25	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	313	205	53	49	13	18	24	32	4	8	4
	定点当り	8.69	5.69	5.30	8.17	3.25	6.00	8.00	8.00	4.00	2.00	4.00
水痘	報告数	2	3	1	1				1			
	定点当り	0.06	0.08	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	50	14	5	2		2	1	3			1
	定点当り	1.39	0.39	0.50	0.33	0.00	0.67	0.33	0.75	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	13	1	5	4		1	2			
	定点当り	0.53	0.36	0.10	0.83	1.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1		1							
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	18	9	8	1						
	定点当り	1.33	3.00	3.00	4.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 保健所受理分)

4類感染症	つつが虫病	2例(2)	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	梅毒 3例(3)

()内は今週届出分、再掲

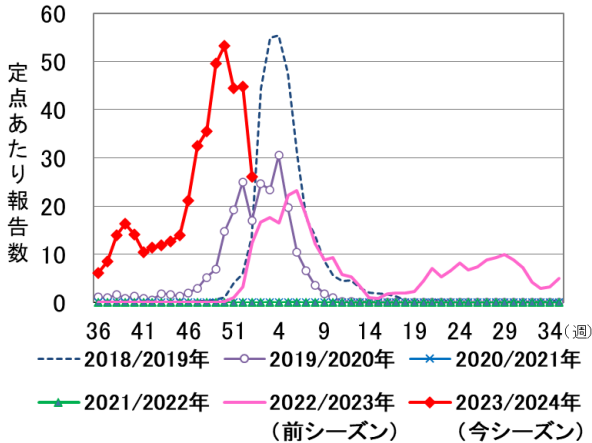
インフルエンザ情報《県内第1週、全国第52週（再掲）》

□ 県内第1週インフルエンザ発生動向

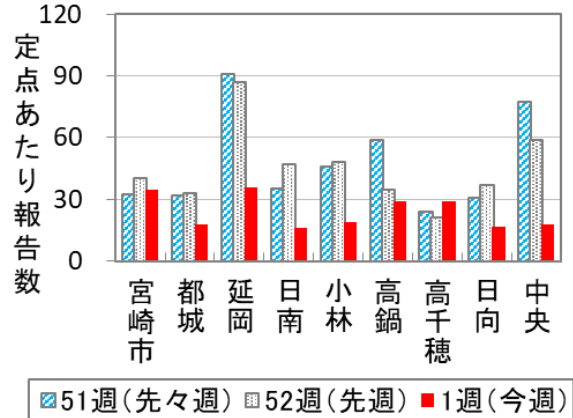
1月1日～1月7日までの1週間で1,511人(26.1)の報告があった。前週比58%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(10.9)の約2.4倍であった。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

インフルエンザ 発生状況



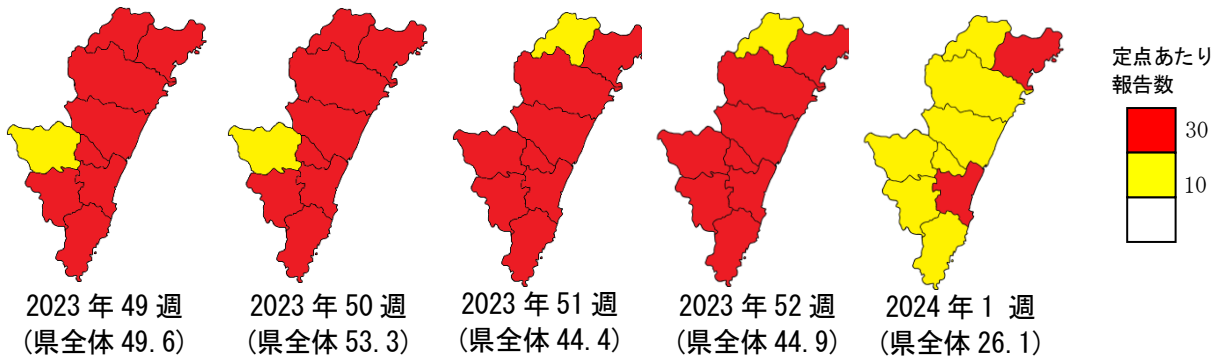
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



年齢群別割合の推移(2023年第49週～2024年第1週)

1,511人 1週	21%	18%	13%	6%	33%	9%
2,602人 52週	19%	25%	18%	10%	23%	5%
2,577人 51週	19%	29%	21%	9%	17%	5%
3,089人 50週	17%	33%	24%	6%	15%	5%
2,879人 49週	19%	33%	24%	6%	15%	3%
	□5歳未満	□5～9歳	□10～14歳	□15～19歳	□20～59歳	□60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第49週～2024年第1週



□ 全国第52週インフルエンザ発生動向

12月25日～12月31日までの1週間で104,612人(21.7)の報告があった。前週比94%と減少し、宮崎県(44.9)、高知県(36.3)、大分県(35.7)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が24%、10-14歳が18%、15-19歳が8%、20-59歳が27%、60歳以上が6%であった。